

三瓶演習林アクセス地図



島根大学 三瓶 演習林



演習林へのアクセス方法、利用のご案内については演習林ホームページをご覧ください。

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/enshurin/>

島根大学演習林



演習林の日々の様子、
地域の情報を発信
しています！



島根大学 生物資源科学部
附属生物資源教育研究センター 森林科学部門

三瓶演習林 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 941-1
TEL&FAX 0854-86-0011 e-mail forest-ercbr@life.shimane-u.ac.jp

松江キャンパス 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 TEL&FAX 0852-32-6079
事務部 〒690-1102 松江市上本庄町2059 TEL 0852-34-0311 (代表) FAX 0852-34-1823
(本庄総合農場内)

匹見演習林 島根県益田市匹見町字広見口335-2
松江試験地 島根県松江市上本庄町字二の谷2235-4



島根大学 生物資源科学部
附属生物資源教育研究センター
森林科学部門

三瓶 演習林の概要



三瓶演習林は国立公園三瓶山の周辺部に位置し、獅子谷団地(約215ha)、大谷団地(約39ha)、多根団地(17ha)の3団地から成ります。

森林

天然生林面積約177haのほとんどは落葉広葉樹二次林で、コナラ、シデ類、アセビ、ソヨゴなどが多く見られます。一部は蓄積の多い、この地域には稀な林分です。かつて日本一の銀の採掘量を誇った世界遺産石見銀山(三瓶演習林から約26km)に木材を供給した御囲村(おかこいむら)に由来し、その後もたたら製鉄等のため薪炭材を供給して、長年にわたる人との関わりの中で成立した里山林です。人工林は約85haの面積があり、スギ(約63ha)、ヒノキ(約22ha)が主な造林樹種です。県立島根農科大学から国立大学に移管された1965年頃から植栽が始まったので、比較的若い人工林です。

地質

地質は花崗岩質貫入岩を基盤とし、黒雲母花崗岩や閃緑岩からなります。三瓶火山の噴火堆積物の影響が大きく、斜面下部では崩積性の火山灰土壌が厚く堆積している部分が多く見られます。

気候

気候は山陰気候区に属し、年平均気温は約13℃、最高月平均気温は約24℃(7月)、最低月平均気温は約2℃(1月)です。年間降水量は2200mm程度で、1月~3月は雪におおわれます。



大学演習林というフィールドを生かして、様々な活動ができます。

宿泊施設

- 洋室3室+和室1室があり、最大で15名が宿泊可能です。多目的室では、25名程度までの講義も可能です。
- 宿泊施設の詳細(各部屋の写真等)については、島根大学演習林ホームページ(裏表紙参照)をご覧ください。
- 近くには国立三瓶青少年交流の家、三瓶温泉などがあり、大人数での利用の際にはそちらが便利です。
- 2名の常駐スタッフがあり、教育研究のサポートを行っています。



教育

- 主に生物資源科学部の学生・大学院生を対象として、生態学・水文学・測樹学などや、森林管理技術に関するフィールド教育を行っています。また、学部を問わず、環境教育なども行っています。
- 公開森林実習(*)を開講し、全国の大学生を受け入れているほか、演習林を持たない他大学に実習フィールドやサポートを提供しています。

*「全国農学系学部相互間における単位互換に関する協定」に参加する大学の農学部が他大学の「公開森林実習」を受講できる単位互換制度です。



研究

- 教職員の試験研究と、学生による卒業論文や修士論文作成のための研究フィールドとして利用されています。
- また、長期間にわたって観測を継続できるという演習林の特性を生かし、樹木フェノロジー調査、酸性降下物調査、広葉樹二次林の動態調査、水文観測、気象観測等を行っています。



その他

- 他機関や地域の学校、市民グループ等の研修利用を受け入れています。
- 2018年度からは島根県立三瓶自然館サヒメルとの共催で「サヒメル科学探険隊」の小学生を受け入れ、演習林教職員が実習をサポートしています。

